

## 第2回高等研究院スーパーレクチャーを開催



ザンク博士にCertificateを贈呈する平野総長



あいさつする北住院長

第2回高等研究院スーパーレクチャーが、10月10日(火)、野依記念学術交流館カンファレンスホールにおいて、大学の教職員・学生・一般市民など、約100名の参加を得て開催されました。

このレクチャーは、国際的に最先端を行く学術活動の一端を広く社会に伝えることを目的として、昨年度に引き続き開催されたもので、世界最高水準の研究者を招聘して行われる講演(名古屋大学レクチャー)と、高等研究院で採択された研究プロジェクトを終了した高等研究院教員による研究成果の発表(高等研究院レクチャー)の2部構成で行われました。

田上英一郎高等研究院副院長の司会進行のもと、始めに、北住高等研究院長の趣旨説明及びあいさつがあり、次いで、高等研究院レクチャー及び名古屋大学レクチャーが行われました。

名古屋大学レクチャーでは、フランス学士院会員、コレージュ・ド・フランス副学長のミシェル・ザンク博士が「西洋における詩歌の源泉－中世吟遊詩人の歌とその解説書－」(フランス語、同時通訳付き)と題した講演を行いました。ザンク博士は、吟遊詩人によって作られた詩が解説付きで出版された際に、その解説が、時には的はずれなものがありながらも、興味深い心理分析を含むことがあり、後の心理小説の芽ばえともなったことなど、多くの示唆に富む内容を話しました。また、講演前に平野総長からザンク博士にCertificateの贈呈が行われました。講演後には、参加者と、予定時間を超えての活発な質疑応答も行われました。

高等研究院レクチャーでは、森 郁恵理学研究科教授による「線虫行動の研究から脳・神経系のしくみを理解する」、内田浩二生命農学研究科助教授による「体の中でできる“さび”の科学」、笹井理生工学研究科教授による「ソフト分子マシン」、新美智秀工学研究科教授による「高クヌッセン数流れのミクロスケール・アナリシス」、後藤節子医

学部保健学科教授による「妊娠期および産後女性の精神的健康に関する研究」、そして武田邦彦工学研究科教授による「アイヌ文化と科学技術」の6つの報告がなされ、高等研究院での研究成果が披露されました。

なお、高等研究院では、特定の研究テーマに主眼を置いた高等研究院フォーラムを、12月5日(火)に、高等研究院研究者育成特別プログラム発足記念「公正な科学研究に向けて－業績評価と研究倫理－」と題し開催する予定です。



講演するザンク博士



講演する森理学研究科教授